

# 副専攻プログラム

## グローバル・コミュニケーション副専攻

(GC副専攻:Global Communication minor)

グローバル・コミュニケーション副専攻(GC副専攻)は、入学した学部・学科で主専攻をしっかり学びつつ、もっと外国語(英語)で学べるようになりたいと考えている意欲ある中上級者のためのプログラムです。

GC副専攻の受講者は、できるだけ早いうちに海外研修に参加することが求められます(必須)。GC副専攻の正式登録者に対して、カナダのビクトリア大学のグローバル研修「GC\_Int」(2年次夏休み実施)が用意されています。「GC\_Int」に参加し、グローバルな視点から学修することにより、英語のスキルをバランスよく伸ばすことができます。また、「GC\_Int」以外にも、本学にはさまざまな交流協定先への研修プログラムがあり、積極的な参加が求められます。



ビクトリア大学ELC(English Language Centre)外観

## コミュニティ再生副専攻

(CR副専攻:Community Regeneration minor)

### 地域の「再生・賦活」「安全・安心」の達成にアプローチする

コミュニティ再生副専攻(CR副専攻)は、都市や地域社会が抱える多様化・複合化した課題に向き合い、その解決の方策や理論を、学部の枠を超えて学生が教員とともに、実際の現場で学修するプログラムです。積極的に地域社会をデザインしたりコーディネートする知識・行動力を備えた人材の育成を目指しています。CR副専攻は、「地域実践演習」「アゴラセミナーIa/Ib」「アゴラセミナーII」「CR認定専門科目」の科目群から成り立っており、「地域活性」「環境・防災」「地域福利」「地理・空間」「地域・文化資源」などの複数の分野の視点に立って授業が展開されます。

### 授業の流れ

**地域実践演習**では、まず地域に飛び込み、その地域の課題を自分たちの目・耳で識ることから始まり、その課題に対して、正面から取り組む姿勢や方法を学びます。授業は、複数の分野から一つを選択します。(1・2年次/共通教育科目)



**アゴラセミナーIa/Ib**では、広く5分野全ての現場に赴き、「すごい人やすごい現場に出会う」ことを出発点に、実践家の多彩で卓越した活動に間近で接しながら、交流や意見交換を重ねて課題を明確化していきます。(2年次～)



**アゴラセミナーII**では、CR副専攻での学びの集大成として、学生自身が地域課題・テーマを設定し、課題解決に向けて調査や活動を行い、現場との接し方やアウトカムの出し方、社会への伝え方を身に付けていきます。(3年次～)



**CR認定専門科目**では、大阪市立大学の各学部・学科で開講されている「地域」に関連する専門科目を、学部の垣根を越えて、幅広く学ぶことができます。これにより、地域課題解決の専門的知識を習得します。

### 新設!

## 人権副専攻

(HR副専攻:Human Rights minor)

国際基準の「人権」を学び、  
平等社会のためのリーダーとなる

人権副専攻(HR副専攻)は、人権(Human Rights)をキーワードに、国際人権基準について深く学び、多様な人々と互いを尊重しながら協力・協働できるリーダーの育成を目指す教育プログラムです。講義と参加型ワークショップを組み合わせ、「気づき」と「知識」の両面から理解を深め、人権に対する現代社会のバックラッシュや新しいレイシズム等の現象を取り上げ議論していきます。